

法友工体連

HOSEI NETWORK NEWS

発行所 法政大学学友会工体連OB会
 編集人 菊池 貢
 編集者 高津次朗・細淵祐二
 事務局 青木 繁
 東京都豊島区南長崎1-18-11
 矢野椎名町ビル101 〒171-0052
 (株)クローネ設計企画内
 TEL 03-3565-5885
 FAX 03-3565-5887

頑張れ工体連!

～大きく変化する工体連を取り巻く環境～

工体連を取り巻く環境は大学改革の波を受け、大きく変化しています。

これまで工体連各部は本部団体(工体連や技連、文連等)のサークルとして大学の学生部に登録されていましたが、08年度から本部団体が廃止され、新たに学生センターの審査を経てサークルとして大学に登録されることになりました。

<サークルとしての条件>

学部生5名以上 専任教職員の顧問がいる 学生三役(委

員長、副委員長、会計等)がいる 活動報告・計画、前・当年度決算報告書が提出できる 所属員名簿を提出できる 過去3年間団体登録の審査を受けている

今後は学友会費がなくなり、大学から活動補助金が支給されることとなりますが、各部の予算は大幅に削減されます。厳しいようですので、是非、現役に状況を聞いてみて下さい。OB会の支援が必要かもしれません。工体連本部は新しく設立されたサークルサ

ポータ制度により、「小金井学生支援委員会(仮称)」として活動していくことになりました。ただ、本部予算はなくなり、活動に必要なものは現物支給になるようなので、やりにくそうですね。

この変化が工体連にどのような影響を与えるのか、我々OB会も学校側の動きを踏まえ、現役を支援していかなければと思います。状況は今後もレポートしますので、聞きたいことや疑問があれば、各OB会の理事を通じて結構ですのでご質問下さい。

学部も多くなり、分かれもしましたが、例年通り100名強が入部し、工体連

全体で400人強が在籍しているそうです。デザイン工学部(旧建築・土木、市ヶ谷)からは残念ながら1~2名ですが、徐々に卓球部が復活し、昨年から準部として頑張っているとの嬉しいニュースもあります。工体連の今後の活躍に大いに期待しましょう。

文責 高津 次朗



部室棟 左側と工事中の東館

スポーツの効能

急激な時代の流れに対応すべく法政大学理工系学部の再編が進み、本年度は工学部が理工学部と生命科学部に改組されました。現在大学の価値は研究、教育、国際化によって決まるといわれています。新体制のもとで、これらいずれの面においても対外的に一層の優れた評価が得られる学部にすべく教職員一同、鋭意努力しています。

教学改革に伴い、キャンパス整備も進み、この会報が出る頃には東館が竣工し、新しい教室で授業が行われていることでしょう。また2010年に北館が竣工し、快適な教育・研究環境が実現します。工体連に所属する学生諸君にとっても、新しい部室で快適な部活動が展開出来るものと思います。

さて、法政大学工体連の皆さんは理工系の厳しいカリキ

ュラムのもとで学業をこなしつつ、練習に励み、大きな成果を挙げてきています。

昨年を例にとると、空手部が全日本理工系大学空手道選手権大会団体形の部で優勝、陸上競技部が関東理工系学生対抗陸上競技大会400メートルリレーで1位、硬式野球部が東京六大学理工系野球リーグで春季リーグ戦優勝など素晴らしい戦果を挙げました。またソフトテニス部とサッカー部が関東理工系大学リーグ戦で2部優勝を果たし、ソフトテニス部は1部昇格という快挙を果たしました。工体連が今後も引き続き大きな成果を挙げるよう期待しています。

学業と両立させた上で、若い時代にスポーツに打ち込むことは、人格形成に非常にプラスとなります。

スポーツの効用について少

し考えてみましょう。水泳の北島選手がインタビューで大きなプレッシャーを感じながらも「オリンピックの舞台に立てることを考えただけでもわくわく出来るというのは、一度経験した者にしか分からないと思います。」と述べていて、強く印象に残りました。スポーツに打ち込んでいる皆さんは挑戦のレベルこそ違え、だれしも自分の能力ぎりぎりのレベルに挑戦して、やるべきことをやったあと試合に臨む。その時には苦しい練習を忘れて、わくわくした感覚を経験するのではないのでしょうか。

挑戦のレベルと自分の運動能力が高いレベルで釣り合った時、充実感が得られるのだと思います。このことはスポーツに限らず、学業や実社会にも当てはまります。様々な課題に直面したとき、逃げずに問題に正面から立ち向かい、能力がある限り挑戦して、解決を図る



理工学部長

八名和夫教授

ことが要求されます。皆さんはスポーツを通じて逃げずに挑戦し続けることで、最後にわくわくした楽しい感覚に行きつけることを知っています。この感覚を体得し、実社会に出た時も常に前向きになれる。これこそスポーツの効能ではないかと感じています。

工体連の皆さんのスポーツでのご活躍を期待するとともに、スポーツで培ったチャレンジ精神を忘れず、社会に巣立って頂きたいと願うものです。

法政大学経営者懇談会

Hosei University President Club

会長 鈴木 公夫(電気1959年卒)

入会金: 100,000円 年会費: 50,000円

法政大学卒業生の企業経営者の集まりです。

入会歓迎: 入会ご希望の方には案内書をお送りします。事務局までご連絡下さい。

事務局 〒228-0005 神奈川県座間市さがみ野1-8-11 高橋秀秀方

TEL&FAX: 046-253-8158

本部 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3 法政大学九段校舎4階



第13回 法友会工体連OB会ゴルフ大会

9月13日開催

～今年は他を寄せ付けず、

8打差の大差でスキー部が優勝～

今年もまた例年通り法友会工体連OB会親睦ゴルフ大会が盛大に行われました。第13回目となる今大会は諸事情により今まで慣れ親しんだ飯能くすの樹C.C.から一転、千葉県・キングフィールズゴルフクラブ(6237ヤード、パー72)に場所を移して開催され、8団体38名の先輩(うち女性1名)に御参加頂きました。大会当日は天候に恵まれ、まさに絶好のゴルフ日和となりました。

本大会ではグロス上位3名の合計スコアによる団体戦と新ペリア方式による個人戦が行われます。優勝を目指すには、至る所に点在するバンカーを避け、落とし場所によ

ては難易度が変化するフェアウェイを的確に捕らえ、大きくて芽がきついベントワングリーンを読み切り、さらに諸先輩からのプレッシャーに耐え忍ぶことが鍵となります。

団体戦では、昨年優勝し、大会連覇を狙うスキー部、昨年は3位ながら個人戦で結果を残している柔道部、空手部は今回人数の関係でゴルフ部との連合チーム、OB会会長を擁し、精鋭を集めた剣道部、エースを投入し、初優勝を目指すボクシング部、チームワークで優勝を目論む陸上部と少林寺拳法部の連合チームの出場となりました。

インコース組は定刻通りのスタートとなりましたが、アウ



上:個人優勝 青沢氏(柔道)
右:団体優勝スキー部OB会



トコース組は渋滞の為、予定スタート時刻よりも約40分遅いスタートとなりました。そんな中、前半を終わってスキー部が4打リードし、柔道部、空手・ゴルフ連合が追いかける展開となりました。

後半もそのままスキー部が実力を発揮し、終わってみれば8打差の大差をつけて堂々の勝利。スキー部が8度目の団体優勝となる結果となりました。スキー部の皆さん、優勝おめでとうございます。

さて、個人戦で優勝したのは、柔道部の青沢先輩。去年、

一昨年と連続3位に入賞している実力者。個人戦は4年連続柔道部から優勝者が輩出され、個人戦に強い印象を受けました。また空手部の永友先輩が実力通りの力を発揮してバスコロに輝きました。

今年も何とか無事にゴルフ大会を終えることができました。至らぬ点が多々あったかと思いますが、御協力頂きました皆様に紙面を借りまして厚く御礼を申し上げます。また来年も宜しく御願い致します。

(文責 ゴルフ担当 田巻嘉彦)



団体成績

TOTAL

優勝	スキー部	246	(大西80、青山83、高安83)
準優勝	空手・ゴルフ連合	254	(永友77、岩下87、井上90)
第3位	柔道部	258	(吉本84、久保86、青沢88、上園88)

個人成績

	優 勝	準優勝	第3位	第4位	第5位	GRS	HDC	NET
	青沢	安立	上園	大西	永友	88	16.8	71.2
	孝 柔 道	倫生 ボクシング	幸政 柔 道	望 スキー	誠 空 手	81	9.6	71.4
						88	15.6	72.4
						80	7.2	72.8
						77	3.6	73.4 BG

第13回「工体連お祭り」

新企画

お祭り前のミニ講演

2008年6月28日(土)PM 5:00より例年通り、第13回工体連お祭りが小金井キャンパスにおいて、盛大に行なわれ



第13回工体連お祭り

ました。

新企画として「お祭り前のミニ講演」と題し、30分と短い時間に我々を釘付けにして、うならせ、笑わせたりして頂けるような講演を大学関係者をお願いしました。

今回は理工学部の安田彰教授をお迎えし、「フルデジタルのスピーカー法政大発ベンチャーが開発 省エネ実現」について講演頂きました。

皆さんはスポットライトをご存知だと思いますが、それが音で出来るスポットサウンドです。同じ部屋で少し離れ

て座っている夫婦が、テレビの画面が野球とサッカー半々に放送されているとすると、ヘッドホンなしで旦那さんには野球、奥様にはサッカーの音声が別々にクリアに聞こえるという技術です。頬ずりして肩を抱き合ってる夫婦にもスポットサウンド出来るようにして欲しいですね。

安田先生は我々同様、工学部の出身で、2006年には(株)トライジェンセミコンダクターというベンチャーを設立されております。

来年も我々を釘付けにして

頂けるような講演をお願いし、それが現役OBの生きるヒントになればと思っております。工体連お祭りは、常に成長しています。

またお会いしましょう。

(お祭り担当 佐藤光男)



安田教授のミニ講演

法政大学

工体連ゴルフ部のますますの飛躍を祈る!!

ゴルフ部OB会の主な行事

- ・OB会ゴルフコンペ
- ・OB総会

ゴルフ部OB会役員

名誉会長 保坂晃一('69 経工卒)
会 長 實川 等('77 土木卒) 副 会 長 山村友弘('84 機械卒)
監 督 井上 玄('94 電気卒) 会 計 遠藤義浩('81 建築卒)

工体連OB会

理 事 中溝栄一('84 機械卒) 田巻嘉彦('94 土木卒)

活躍する工体連OB

信持ってこれを貫く、
生涯学究の徒であれ、
～ 生命保険修士会での活動～

私は、人生は出会いで変わると考えています。出会いとは、書物・人・言葉の三つであると。

この出会いに関して柳生家の家訓には、「小才は縁に出会って、縁に気づかず。中才は縁に気づいて、縁を生かせず。大才は袖振り合う縁をも生かす」とも残されています。とても身にしみる言葉であります。自らを日々高め続けていかねば、機会を逃してしまおうと考えています。

早いもので、法政大学創立100周年という記念すべき年に入学し、28年が経過しました。現役時代、ボクシング部に所属し、工体連本部の委員長を経験させていただいたことが、今ある自分の原点であると感謝しております。リーダーシップ、組織の在り方、上下関係、礼節、人脈等、そして、司馬遼太郎の『竜馬がいく』他を読み工体連の友と語りあったことも懐かしい思い出であります。

その後、私はYKK(創立50周年)に、吉田忠雄創業者の『善の循環＝他人の利益は計らずして、自ら栄えず』に感動し、吉田忠雄創業社長について卒業論文を書き、社長を目指し働きたいと入社しました。10年位勤務し、父のように事業を起こそうなどと考えていました。そして、その10年後に、現在のプルデンシャル生命保険(創業5年)に、『お客様の利益を一番に考える、相互扶助の精神』に感動し転職することを決めました。

当事、社長を目指すと言った手前、そのことに躊躇していた矢先、吉田社長が逝去された翌月の出来事でありました。不思議なことであります。生命保険業界は、現場であ

る営業職のつながりが深く、日本においても現場に四つの団体があります。JAIFA、TLC、MDRT、生命保険修士会(SLU)。私は4つの団体に所属はしていますが、現在は、その中の生命保険修士会の会長として、会員500人の為に、会員にどうしたら喜ばれるか、どうしたら活性化するかを考え、微力ながら力を注いでいます。

この学校は、今から80年前のアメリカに、ソロモン・ステファン・ヒューブナー博士が、目に見える土地や建物には価格はあるが、実は人間という一番大事なものにも価格があるべきだと生命価値を唱えました。その生命価値は、生涯得られるその人の収入から、その人の生活費用を差し引いた価値であり、その価値は将来増加する可能性があるといっています。この生命価値を補うものは、今の社会に生命保険しかない。この理論を全世界に唱え、広報活動に出向きました。そして、もし、生命保険がなければ、国民は不安を味わい、家の購入(団体信用生命保険がないことにより)も出来なくなると唱えました。

その弟子であった末高信教授が、『信持ってこれを貫く』『生涯学究の徒であれ』の精神で立ち上げたのが、アンダーライティング学院であります。今年35年の節目を迎えます。アンダーライティング学院は、毎週土曜日朝10時から16時15分までの3教科を通学し、受講します。そして、一般科目7科目(倫理・哲学、文学、政治学、法学、経済学、心理学、会計学)、専門科目7科目(生命保険論、保険約款、損害保険論、社会保障論、リスク



工体連本部18代委員長

土居 通明('84 ボクシング部、経営工学科)

マネジメント論、戦略経営論、保険数理論)、特別科目(エシックスとコンプライアンス、ニーズ販売のプロセスと展開方法)、特別科目(保険医学、1泊セミナー)を学び、最後に論文とレポートを提出し、卒業した卒業生の集まりが生命保険修士会であります。

卒業後は、毎月の研修会をベースに、1泊研修会、新年会などを継続して学び、懇親を深めていきます。会長としての職務は、その他に、毎月四役会と常任理事会、年5回ほどの理事会、年3回ほどの代表幹事会、同業三団体の総会出席とスピーチ、アンダーライティング学院の運営委員会への出席、各実行委員会(法人化委員会、国際化委員会等)への出席、他団体の行事への参加、その他に打合せと本業

を行ないながらの時間調整には、現役時代の親のお金で学校に通い、工体連の委員長をしていたときとは大違いで、なかなかの段取りが必要であります。どうしても重なる際は、体は一つゆえ副会長他と打合せて、対応しているのが現状であります。

今後も微力ながら大局を見据えた物事の判断(決断)をし、「人の為世の為に」に尽くすことをモットーに精進して行きたく思います。

日々の人生のその瞬間、瞬間を熱く行動し、学ぶことにより謙虚になれる。学ぶことにより信頼される。学ぶことにより自信がつく。生涯学び続けることを継続し、後悔のない人生を過ごしたく思います。私の愛する法政大学工体連の為に。

'08 ホームカミングデー開催

小金井祭期間中(11月1日～11月3日)にホームカミングデーを開催いたします。新部室・新校舎が既に完成されております。是非、現役の活躍する新しい場を見に来て下さい。一方、今までの教室等が近日中に壊される事になりますので、最後の勇姿を眼に焼き付けて下さい。

日 時：2008年11月1日(土)(小金井祭は1日～3日)
場 所：小金井キャンパス(場所は未定のため当日ご案内します)
内 容：13：00～ 講演
・「理工学部これからについて」八名 和夫理工学部長
・「航空操縦学専修について」
日高 光信 理工学部 機械工学科 航空操縦学専修
15：00～ 小金井祭見学・キャンパス巡り
16：00～ 懇親会 (会費：6000円)

工体連が中心になって、工学部同窓会を盛り上げましょう!!



法政大学工体連少林寺拳法部 OB会

「半ばは自分の幸せを 半ばは他人の幸せを」



OB会会長 鈴木 統

各部OB会通信

スキー部、50周年に向けて発車

2009年、スキー部は創部50周年を迎えます。OBは350名を数え、工体連OB会の中で一番大きな組織となっております。こうやって長い歴史と伝統を続けて、350名のOBを輩出出来たことは関係各位のご協力の賜物です。皆様のご尽力に心から感謝いたします。

さて、現在は来年の50周年記念式典に向けて準備を進めております。この式典を成功させるため、今年6月、正式に実行委員会を立ち上げました。昨年から実際に動いている活動は、「会場準備」と「記念誌(アルバム)」です。式典会場はこの約1年間、色々な条件を検討し、8月の会議にて決定しました。

また、アルバム作業は地道に進めております。昨年8月の武道場の取り壊しに伴い、部室が無くなるという事で、まさに“汗と涙の結晶”の優勝カップやトロフィー、賞状、そしてアルバムの数々を引き取りに行きました。

スキー部でいう“アルバム”とは、いわゆるスケッチブックに写真を貼ったものがアルバムです。これを1枚1枚、手作業にてスキャナーで読み取り、パソコンに取り込んでおります。約100冊あり、大変な量となります。1回のOB会の集

まりで読取り出来る量は約15冊です。スキャナー作業は年末までには終了させ、その後は編集作業に移りたいと考えています。

スキー部では7年前から毎年OB会長を交代し、若い代につないでおります。この方法は若いOBを育て、OB会活動に積極的に参加を促す効果を出しております。しかし、この先もこのままの方法で良いかどうかはわかりません。

「強いものが生き残るのではなく、変化に対応できるものが生き残る」の言葉のように、“変わる勇気”と“変わらぬ価値”を持って、これからもスキー部OB会は進んでまいります。

50周年記念式典では多くの関係者、関係団体の皆様に、「感謝」の気持ちを表したいと考えています。今後とも工体連OB会ならびに各部OB会のご支援を宜しくお願い致します。

(平成20年度スキー部OB会長 友部 守)



スキャニング作業

法政往来

- '08. 5.16 江東法友会第3回定時総会
- '08. 5.25 第2回首都圏支部団体親睦ゴルフ大会
- '08. 6. 7 二高同窓会創設60周年記念式典
- '08. 6.13 北京オリンピック出場者壮行会
- '08. 6.21 校友連合会団体責任者会議
- '08. 8.30 法政フェアin新潟
- '08. 9.11 第7回オール法政ゴルフ大会総長杯
- '08. 9.28 法政フェアin首都圏
- '08.10.18 全国卒業生の集い
- '09. 1.17 オール法政新年を祝う会

空手部OB会水月 新会長就任のご挨拶

この度、永年OB会長職を務め、空手部の発展にご尽力頂いた久保春人前会長より会長職を引継ぐことになりました。若輩の身に荷が重いとは思いますが、新役員の一員と共に皆様のご指導ご鞭撻を賜りながら進めてまいろうと考えております。



福田正勝会長

歴史をたどりますと、空手部発祥の三の橋の校舎、小金井校舎屋上の道場開きをし、約40年の間、日々の鍛錬に汗を流す学生を見守ってくれた小金井道場も昨年解体されて、今はありません。工学部も大学の改革により次々と拡大変化しており、工体連の組織も大きく変わらざるを得ない状況にあります。我が愛する空手部も、その変化の中で多くの問題に直面しながらも一生懸命稽古に励んでおります。

少し前の話になりますが、ある大学の空手部70周年記念行事に出席したことがあります。ここで太平洋戦争中に空手部で稽古に励んだ先輩方に、黒帯の授与が行われました。当時は物資がなく、初段をとっても黒帯を授与することが出来なかったとのこと。80歳を超える何人かの先輩方の嬉しそうな顔がとても印象的でした。

サッカー部シニアチーム 2連覇達成!

小金井市シニアサッカーリーグにおいて、昨年に引き続き見事に優勝、2連覇を達成しました。

成績は、負けなしの4勝2分で、2位のチームにわずかな差で、2点差での優勝でした。負けなしチームが7チーム中3チームもあり混戦のリーグを制しました。

40歳以上が参加資格のため、チャージ・スライディングが禁止されているものの、ゲームが始まるとみんなが本気モードになり、ちょっと危険な

継続することはとても大変なことでありますが、幾多の困難を乗り越えてくることにより、過去と現在がつながり、歴史を肌で感じることができるといふ素晴らしさもあります。とても嬉しくなるような場面を印象強く記憶しています。

これからどのような状態になりましても、空手部OB会水月の変わらない姿勢は次の二点です。

自己研磨の場所として空手部を選んだ学生を微力ながら支援していくこと。

4年間の学生時代に、空手部に籍を置いたという運命の糸で繋がっているOB相互の親睦を発展させること。

以上の信念を持って、今後もOB会の活動を続けていきたいと思っております。

工体連OB会並びに各部OB会の皆様には益々のご支援をお願い申し上げます。

シーンが今年は多かったような気がします。

年を経る毎に若い力が加わり、後輩達が順々に入ってくる様はまるで現役時代のような感じです。

若い人達との試合だと力の差があまりにあり、面白くなかった試合も、シニアのリーグでは、おじさん仲間やると、これがまた違った面白さがあるのです。

歳によって楽しみ方が違う、これもスポーツの奥深いところですよ!

スキー部

SWEAT OF 350 BUDDIES IN 50 YEARS

法政大学工体連スキー部OB会

50周年記念クロスワード

ヨコのカギ (ヒント: 成人指定じゃないよ!)

1. 負けるのがきらいです
4. これをナメなめ、イ〜気持ち(〇〇〇ワイン!?)
5. これをふってないと口ごもる(理系だけに??)

- タテのカギ
1. これを掘られた奴はいないはず!
 2. すっかり勢いがなくなったなあ(消える事です!)
 3. 50年間、僕らと共にありました。

これからの50年も、永遠に...

1	2	3
	ち	き
4	ま	○
	5	な